

こんにちは。中間市長の福田健次です。

皆さまもご存じのとおり、公共交通事業者各社においては、新型コロナウイルス感染症拡大により経営に大きな影響を受けながらも、皆さまに安心してご利用いただくため、様々なウイルス対策を行い、事業が安定的に継続できるよう日々努力されているところです。

さて、中間市に本社がある筑豊電気鉄道株式会社様では、さらに安心して利用できる公共交通機関を目指し、地域発の最新技術である「次世代光触媒」を導入することになりました。

この技術は、今年4月より中間市役所内のトイレなどで、九州工業大学で発明された室内でも効果を発揮する光触媒の実証試験を行い、非常に高い抗菌・抗ウイルス性能が確認されたものです。

この実証試験結果により、同社が導入を検討し、その結果、県内の公共交通機関では初めての導入実証となり、年内に「ちくてつ電車」全車両に施工するとのことです。

誰もが安心して利用しやすい交通環境を維持するためには、今ある地域の公共交通を積極的に利用し、守っていくことが重要です。

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年11月20日

中間市長 福田 健次